



資料館報

第 42 号

編 集 令和 4 年 3 月 31 日

発 行 高森町歴史民俗資料館
長野県下伊那郡高森町
下市田 2243
電話 (0265)35-7083

印 刷 (有) 雨 宮 印 刷
電話 (0265)22-6027



道標

目 次

○あいさつ	2	●高森の春	
○令和 3 年度事業報告	3	～ひな人形と美人画&北島新平が描く高森のまつり～	
○資料館委員会等の記録	4	●町民ギャラリー展	
○「時の駅」講座	5	○親子体験教室	9
○令和 3 年度企画展・特別展	6～8	○学校・地域との連携	9
●大槻四郎寄贈作品展		○古文書整理・土器整理	10
●五月人形と武具展		○研究調査報告	11～17
●高森が生んだ明治の大実業家 今村清之助		○令和 3 年度の記録	18～19
●三六災害から 60 年		○令和 3 年度資料寄贈者	20
～留めておきたい未曾有の災害の記憶～		○お知らせ	20
●高森の道		○編集後記	20
～今残しておきたいふるさとの風景～			

◎ ごあいさつ



高森町長 壬生照玄

1月に行われました町長選挙におきまして、二期目の重責を担わせていただきました。町政に対し、これまで同様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2年以上の長きにわたる新型コロナウイルス感染症は、私たちの生活を大きく変化させました。地域の行事やイベントは縮小や自粛の決断を迫られ、3月後半から4月上旬に各地区の寺社に奉納される「獅子舞」なども中止を決断される地区が多い状況です。しかし、規模などは縮小しても7年に一度の「御柱祭」は挙行されるとお聞きしています。春の訪れを告げる勇壮なお祭りを楽しみにしています。

先日高森南小学校へお邪魔したところ、5年4組の皆さんが「地域探求学習」の時間で1年かけて調査した「高森町の民話マップ」が掲示しており、その一部の物語を手作りの絵本にしてありました。きっとこの取組みには多くの皆さんが関わっていることでしょう。地域を知る学習の中で、地域の人々が子どもたちに関わっていただくと子どもたちの愛郷心を育み、まちづくりの担い手育成につながります。ご支援いただいた皆さんに心から感謝申し上げます。このマップは、4月以降中央公民館、時の駅などで展示させていただきます。

今後多くの皆さまが、子どもたちや地域に関わり、未来の高森町をつなぐ一員としてご活躍されることをご期待申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



高森町教育長 帯刀昇

今年度も新型コロナ感染防止のため「在館時間・人数制限」「休館」を余儀なくされた中、企画展・特別展の開催、講座・体験教室を実施し、多くの方々に学びの機会を提供することができました。

11月26日の北部地区町村教育委員会研修会では、芦部館長に「高森が生んだ明治の大実業家 今村清之助」と題して講演をいただき、特別企画展の見学も行いました。NHK大河ドラマ「青天を衝け」の主人公・渋沢栄一とともに日本最初の株式取引所を設立、さらに「鉄道王」との異名も持つ大実業家の生涯や業績を学び、郷土の大先輩の偉大さを深く認識する時間となりました。

これからも、地域の宝を後世に橋渡しすることができ、町民の皆様の学びたいという意欲に応えられる「時の駅」を目指し、運営して参ります。

コロナ禍においても諸事業開催に向け、お力添え頂きました多くの皆様方に感謝申し上げますとともに、「なりたい『あなた』に会えるまち」の将来像に向け、地域に根ざした学びの場を提供できるよう努力しますことをお約束し、挨拶とさせていただきます。



資料館運営委員長 下沢貢

日頃より町民の皆様には資料館「時の駅」の運営に、ご理解ご協力を賜り誠に有り難うございます。コロナ禍の中、社会教育の拠点としての資料館「時の駅」の役割はどうあるべきかを考える機会が多々ありました。来館者数はコロナ禍以前には届きませんでしたが、来館者の皆様にとって充実した学習の場であったと考えております。来館者が一人であっても、100%の準備と指導力をもって迎えるのが社会教育としての役割であります。各講座・企画展示の質の高さ、地域資源としての学習素材の掘り起こしと一般化などは資料館を支えていただく皆様の熱い思いと努力の賜であると考えております。

本年度は資料館調査委員の皆様の「高森の道」調査の最終年度のまとめの冊子を発行しました。これをもとに公民館と連携してウォーキング「町あるき・下市田善光寺道を歩く」を実施しました。このような「連携」を更に探っていくことも社会教育の窓口を広げていくことにつながると考えます。皆様のご来館を心よりお待ちしております。

令和3年度事業報告

館長 芦部公一

高森町歴史民俗資料館「時の駅」では新型コロナウイルスの感染が終息しない厳しい状況の中ではありましたが、町内外の多くの方々にご利用いただきますとともに厚いご支援を賜り誠に有難うございました。ここに令和3年度の事業報告をさせていただきます。



(1) 企画・特別展

- | | | |
|---------------------------------------|----------------|--------|
| ①特別企画展 「大槻四郎寄贈作品展」 | (4月10日～5月5日) | 453名 |
| ②企画展 「五月人形と武具展」 | (4月23日～5月30日) | 670名 |
| ③特別企画展 「高森が生んだ明治の大実業家 今村清之助」 | (5月15日～12月26日) | 4,396名 |
| ④特別展 「三六災害から60年～留めておきたい未曾有の災害の記憶～」 | (6月26日～10月15日) | 2,229名 |
| ⑤特別展 「高森の道～今残しておきたいふるさとの風景～」 | (11月2日～12月12日) | 743名 |
| ⑥特別企画展 「高森の春～ひな人形と美人画&北島新平が描く高森のまつり～」 | (2月25日～4月10日) | 673名 |
| ⑦町内小中学校生徒作品展 (南小10月、中学校12月、北小2月) | | |

(2) 資料館講演会「時の駅」講座

新型コロナ感染予防対策で、会場を高森町福祉センターに移して実施した。

- | | | |
|---------------------------|--------------------------|-----|
| ①第1講座「洪水史から学ぶ～未満水～」 | 7月3日 飯田市美術博物館専門研究員 青木隆幸氏 | 41名 |
| ②第2講座「江戸時代の感染症と人々の対応」 | 9月19日 高森町歴史民俗資料館 塩澤元広主事 | 38名 |
| ③第3講座「高森町の秋葉信仰と片桐源栄の秋葉山詣」 | 11月6日 高森町史学会会長 鈴木信孝氏 | 38名 |

(3) 親子体験教室

- | | | |
|---|---|--|
| ①夏の親子体験教室(教委ブンカザイルキッズ連携も含む) | | |
| ・7月24日(土) 第1講座「富本鏡レプリカ」・第2講座「糸取り・飾り紐作り」 | 31名 | |
| ・7月25日(日) 第3講座「勾玉づくり」・第4講座「土器づくり」 | 42名 | |
| ・7月31日(土) 第5講座「トンボ玉づくり」・第6講座「火起こし」体験 | 45名 | |
| ・11月27日(土) 第4講座の土器の野焼き | 8名 | |
| ②小正月飾り体験教室 | 1月10日(月)新型コロナ感染防止のため餅つきと飾りづくりのみ行った。参加者38名 | |

(4) 古文書研究会

毎月第3木曜日に学習会を開催した。3月には会員による特別研究会を行った。

(5) 高森町史を読む会

毎月第4木曜日に学習会を実施した。

新型コロナ感染拡大で、3月に飯田市美術博物館青木隆幸氏の特別講演会を行った。参加者34名

(6) 委員会の活動

- ・資料館運営委員会 資料館の運営について協議 3回開催(他に小正月飾りで1回)
- ・資料館調査委員会 『高森の道』調査のまとめと報告書冊子作成 5回開催(小正月飾り作りへも参加)
- ・資料館活用委員会 年3回 小中学校・図書館と、資料館活用方策等について協議(3回目は文書で)

(7) 学者連携事業

資料館と学校が連携して授業を実施した。(P9参照)

(8) その他の取り組み

- ①蚕の飼育・大正月飾りは例年通り行った。
- ②古文書整理作業は吉田「中塙家文書」の整理と目録作りを進めた。
- ③刀の手入れ作業(中塙美弘氏)
- ④初めて小学校へ入学した家庭に冊子「高森の人」を寄贈した。
- ⑤「高森の道」発行

(9) 入館者数 6,216名(昭和54年開館から272,188名)

見学はもちろん、多くの団体に施設を利用していただいた。(P18・19参照)

<退任の挨拶>

平成26年度から8年間資料館に勤めさせていただきましたが、今年度末をもって退任することとなりました。在任中は皆様方には大変お世話になりました。心より感謝を申し上げます。関係の皆様方の益々のご健勝ご発展をお祈り申し上げまして、挨拶とさせていただきます。有難うございました。

資料館 委員会等の記録

1. 資料館運営委員会

〈委 員〉

下沢 貢 座光寺 永子 北沢 彰利
北原 みどり 宮原 祐敬

〔運営委員会の主な活動〕

○定例委員会4回

- ・資料館「時の駅」の運営に関わりさまざまな提言をした。また、夏休み親子体験教室、小正月飾りづくり教室の指導も行った。

2. 資料館調査委員会

〈委 員〉

(山 吹) 橋都 洋治 小平 国俊
(吉 田) 塚平 隆 中塙 敏彦
(下市田) 唐木 孝治 中村 忠敬
松村 一
(上市田) 林 祥三
(牛 牧) 加藤 清
(大島山) 佐々木 一寿
(出 原) 福沢 茂樹

〔調査委員会の主な活動〕

○定例委員会5回

- ・『高森の道』について、原稿の執筆、校正の作業を重ね、製本出版に到った。
- ・小正月飾りづくりでは、飾りつけの指導をした。

○委員研修視察旅行

- ・運営委員と調査委員による研修視察は、昨年新型コロナウィルスの感染拡大のため中止となつたが、今年は県内で日帰りと規模を縮小し実施した。11名が参加し、善光寺街道を洗馬宿から稻荷山宿まで巡った。



3. 古文書研究会

〈組 織〉

会長 矢澤 篤 (上市田)
副会長 宮下 明子 (中川村)
会計 畑中 定喜 (出原)
監事 鈴木 信孝 (下市田)
講師 吉澤 章 (飯田市)
顧問 福島 壽子 (下市田)
手塚 勝昭 (吉田)
幹事 芦部 公一 小林 和子 (資料館)
会員 27名 (内13名は町外の会員)

〔活 動〕

○定例会 (毎月第3木曜日)

- ・松尾芭蕉『奥の細道』や研究会発行の月報に掲載されている古文書を、講師の吉澤さんに解説していただき読み深めた。

○館外研修 (7月22日)

- ・金沢峠、富士見町へ出かけ研修した。

○古文書特別研究会 (3月17日)

- ・今年度は今までのように講演ではなく、水論についての古文書をテキストに、4人の発表を皆で検討し合う形式で学習を深めた。

4. 高森町史を読む会

〈組 織〉

会長 松上 清志 (下市田)
副会長 羽生 宏敬 (下市田)
監事 北村 重信 (牛牧)
会計 小林 和子 (資料館)
会員 25名 (内1名は町外の会員)

〔活 動〕

○定例会 (毎月第4木曜日)

- ・7年目を迎えた高森町史を読む会では、「近世」の項目を読み進めた。臨地研修は松川町を計画したが、新型コロナウィルス感染拡大のため中止。

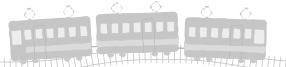
○特別講演会 (3月20日)

- ・青木隆幸さんを講師に迎え「おんなたちは善光寺をめざす～近世女旅の祈りと工夫～」と題して講演を行った。

5. 資料館活用委員会

- ・高森南小学校、同北小学校、高森中学校、高森町図書館の関係職員で構成し、年3回、資料館の有効活用について検討した。第2回委員会では、夏の親子体験教室に参加していた。

22回目の「時の駅」講座



今年度は下記のような日程で、新型コロナウイルス感染拡大防止のため会場を高森町福祉センター大ホールに移して行いました。時の駅講座の講演記録は、資料館にあります。

第1講座『洪水史から学ぶ～未満水を題材に～』

7月3日 41名受講

講師：飯田市美術博物館専門研究員

青木 隆幸 氏

「未満水」は江戸時代の正徳5年(1715)に天竜川流域で起きた大洪水ですが、調べてみると一番信頼できる史料は座光寺氏が記した史料で、ほかはそれからの伝聞や引用ばかりだとのことです。その史料からわかることは、「未満水」は三六災害と気象条件は似ているが被害地域は今まで言っていた範囲よりきわめて限定されたものだったなど興味深い事実を示してくれました。

第2講座『江戸時代の感染症と人々の対応～南信地方の事例を中心に～』

9月19日 38名受講

講師：高森町歴史民俗資料館主事

塩澤 元広

江戸時代にこの地域を襲った感染症は、疱瘡、麻疹、痢病などがあり、雲雀沢村（阿南町）や現在に高森町の村々の史料から、それらの感染症による罹病の様子や人々の対応にふれ、多くの地域では、疱瘡や麻疹に対して隔離のようなことをしていないこと、それに対して諏訪郡の乙事村や松目新田村が村ぐるみで隔離対応をしているその革新性を紹介しました。

第3講座『高森町の秋葉信仰と片桐源栄の秋葉山詣』

11月6日 38名受講

講師：高森町史学会会長

鈴木 信孝 氏



高森町の秋葉山大権現碑は全部で36基あること、また現在も講が活動している所が9つあり、秋葉様祭りを行っている所は3か所あることなど、全町域をまわって碑を訪ね、多くの人に聞き取りを行って得た成果を発表してくれました。そして座光寺氏の家老・片桐源栄の秋葉詣の旅や秋葉の火まつりについて、映像など多くの史料から解説してくれました。

令和3年度企画展・特別展

特別
企画展

『大槻四郎寄贈作品展』

4月10日～5月5日 入館者453名

昨年度、中塚文昭様より大槻四郎画伯の作品10点の寄贈を受けました。そこでその披露のため、当館所蔵の画伯作品も合わせて展示して見ていただきました。展示した作品は、「夜の富士」「アザミ」「秋」などです。



企画展『五月人形と武具展』



4月23日～5月30日 入館者670名

今年も座光寺氏の甲冑や資料館寄託・所蔵の刀剣類を展示しました。また、町内より寄贈いただいた五月人形や座敷幟・兜飾りなども展示しました。

特別
企画展

『高森が生んだ明治の大実業家 今村清之助』

5月15日～12月26日 入館者4,396名

渋沢栄一らとともに明治期の経済界をリードした清之助。今回は、実業家としての実績を中心にして展示してみました。同時期に放映中の大河ドラマ渋沢栄一や天下の糸平田中平八、さらには井上馨、陸奥宗光との強いつながりを示す資料も展示しました。清之助のことをこの展示で初めて知ったという方も多く、彼が果たした偉業に驚きをもって見学しておられました。



**特別展 『三六災害から60年
～留めておきたい未曾有の災害の記憶～』**

6月26日～10月15日 入館者2,229名

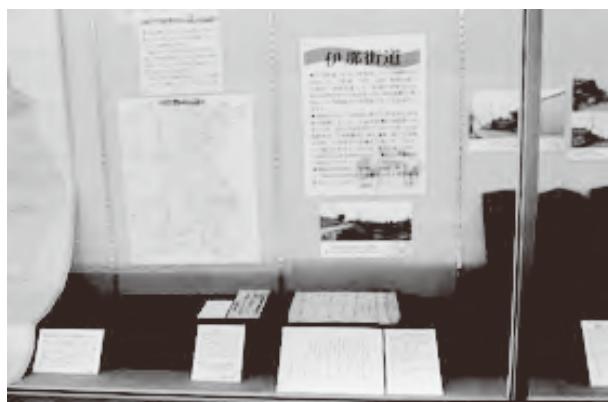
伊那谷を襲った未曾有の災害「三六災害」から今年で60年となります。高森町でも多くの犠牲者を出した災害です。今回の展示では、高森町役場職員が各地で撮影した貴重な被災状況の写真をはじめ、公民館で撮影した8mmフィルムの映像や、日本映画大学の皆さんのが作成したドキュメンタリー映像、また三六災害に関係した書籍などを展示しました。この三六災害を知らない世代も多くなりました。展示を見た多くの方が、忘れてはならない記憶として次世代にどう継承していくかを考えてくださいました。



**特別展 『高森の道
～今残しておきたいふるさとの風景～』**

11月2日～12月12日 入館者743名

高森町には街道・交易の道、信仰の道、歴史の道、生活の道などさまざまな目的で開かれ、使われてきた道があります。日々変わっていくふるさと高森の道の姿、今残しておかなければ消えてしまうかもしれない道の姿を残された資料や写真で構成しました。また高森にある道標46基をすべて地図に示し、昔の道が記された古い地図も展示しました。見学した多くの方から、「旧街道など地図を片手に歩いてみたくなった。」との感想をいただきました。



企画展『高森の春』



～ひな人形と美人画&北島新平が描く高森のまつり～



2月25日～4月10日

入館者673名
(4月1日現在)

恒例のひな人形と美人画展ですが、今回は、昨年北島新平画伯の作品21点の寄贈をうけましたが、その多くは高森町各地区の祭りを描いたものなので、『高森の春』と銘打ちその作品も合わせて展示を行いました。また今回初めて布喜の会の皆さん製作のつるしひなの展示も行いました。



『町民ギャラリー展』 小中学生の作品展示(10月～2月)



高森中学校



高森南小学校



高森北小学校

夏の親子体験教室と小正月飾りづくり体験教室

今年の夏の親子体験教室は、新型コロナウイルスの流行により人数制限を設けて実施しました。例年行っている5講座（富本銭づくり・まゆから糸とり・勾玉づくり・土器づくり・トンボ玉づくり）に今年は火起しの講座も加え、7月24日・25日・31日の3日間で計118名の皆さんに楽しんできただくことができました。11月27日には、作った土器の野焼き体験も行い8名の親子が参加しました。

小正月飾りづくり体験教室（1月10日）では、38名の親子が参加し、晴天のもとで餅つき、もち花・まゆ玉づくりを体験することができました。



学校・地域との連携

町内の小中学校を中心に、今年多くの学校で校外学習や出前授業に利用していただきました。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| ①高森南小学校5年生 勾玉作り | ⑦座光寺小学校2年生 養蚕について学習 |
| ②高森北小学校クラブ活動 4回 | ⑧高森北小学校3年生 昔の暮らし体験 |
| ③高森南小学校5年2組 三六災害の学習 | ⑨泰阜小学校4年生 富本銭レプリカ作り |
| ④松尾小学校3年生 昔の暮らし体験 | ⑩豊丘南小学校6年生 歴史学習 |
| ⑤高森南小学校4年生 市田柿の学習 | ⑪高森中学校1年1組 歴史学習（富本銭） |
| ⑥高森中学校3年生総合歴史班 展示見学 | ⑫高森南小学校5年1組 総合学習 |

◇そのほか「みらい福祉会」の皆さんのが勾玉づくりを行いました。（2回）

◇資料館を毎月の定例会場として、短歌、俳句、源氏物語、音読など多くの団体にご利用いただきました。

資料館活動の様子

①古文書整理作業



資料館に寄託された吉田の中塚家の文書整理を行っています。ほぼ終了し、来年は目録を製本します。

②土器整理作業

発掘された土器の復元作業や図面づくりを進めています。今年度は下市田の堂垣外遺跡の遺物整理を行い、ほぼ終了しました。



③清掃作業



毎月2回、館内のすみずみまできれいにしていただいています。

研究調査報告「高森の道標」館長 芦部公一

平成30年度から資料館調査委員の皆さんと「高森の道」の調査を進めてまいりました。調査報告は「高森の道～今残しておきたいふるさとの風景～」という冊子にまとめました。図書館や各区へ配本しましたのでご覧ください。ここでは道標について報告をします。

1. 町内道標の種類と分布の様子

今回の調査は、昭和62年および平成6年の調査を基に、改めて確認調査を行ったものです。前回までの調査では道標とされていなかったもの、どちらかの調査で抜けていたものなどがありました。確認できたのは町内50基です。(別表5参照)

なお、山吹の道標に関わっては、郷頭地区のものは含んでいません。

(表1) 道標の造られた時代と分布

	江戸	明治	大正	昭和	不明	合計
下市田	1	1		2	8	12
吉田		2			5	7
牛牧・上市田	2		3			5
大島山・出原	3	2		1		6
山吹	2	5	9	3	1	20
合計	8	10	12	6	14	50

※不明道標：年号未彫刻・判読不明のもの

(表2) 道標の形態と分布

	馬頭観音	不動尊	薬師像	觀音像	歌碑	行先のみ 角柱加工	行先のみ 自然石加工	合計
下市田	3					4	5	12
吉田						3	4	7
牛牧・上市田	1					4		5
大島山・出原		1		1	1	4		6
山吹				1	15		4	20
合計	3	1	1	1	1	30	13	50

※行先：馬頭観音(秋葉道・善光寺道)・不動尊(不動滝)・薬師像(瑠璃寺)・如意輪観音(隣政寺)・歌碑(不動滝)

(表3) 道標の示す行先の内訳と分布

	善光寺	元善光寺	秋葉山	瑠璃寺	不動滝	隣政寺	村内 部内地	合計
下市田	7	5	5				4	21
吉田	4	1	1				2	8
牛牧・上市田		1			4		3	8
大島山・出原			1	1	2	1	1	6
山吹					5	15	20	
合計	11	7	7	1	6	6	25	63

※一つの道標には2～3方向を示すため、実際の道標数とは整合しない 船渡道は秋葉山に含む

(表4) 時代別道標の行先

	善光寺	元善光寺	秋葉山	瑠璃寺	不動滝	隣政寺	村内 部内地	合計
江戸時代		1	2	1	1	3		8
明治時代	1				2		7	10
大正時代					3	1	11	15
昭和時代						1	5	6
時代不明	10	6	5			1	2	24
合計	11	7	7	1	6	6	25	63

※隣政寺には戒壇不動2を含む

(1) 道標の造られた年代ですが、表1のとおりです。下市田・吉田に不明の道標が多いのですが、そのほとんどが表3,4より善光寺道(座光寺道)、秋葉道に関わる道標であり、石の状態や文字表現から見ても時代的には江戸期から明治期にかけて作られたものであろうと考えられます。

(2) 善光寺道(座光寺道)や秋葉道が下市田・吉田を通っていることから当然それにかかわる道標が分布しています。山吹地区にはこれに関わる道標は見られません。

(3) 道標の形態は表2にあるとおり行先のみの表現がほとんどですが、街道に関わっての馬頭観音像や不動滝や瑠璃寺そして隣政寺に関する石造物に道程を示すものも見られます。馬頭観音は天明5年のもの1基、不明2基ですがおそらく江戸期のものと考えます。また、薬師像は寛政10年、如意輪観音は天保11年、不動尊像は弘化4年、歌碑は明治45年の建立です。

(4) 明治、大正期に「青年団」「青年会」が建立了道標や『御大典記念』『御即位記念』という表記も多くみられます。明治44年、大島山青年会では活動資金獲得事業で農家の手伝いを行い、得た資金で「不動滝正道」や「子規の歌碑」の道標を立てたそうです。また明治、大正、昭和初期には国家行事に関連して各村では村社造営、村社標柱建立など様々な事業を行っています。

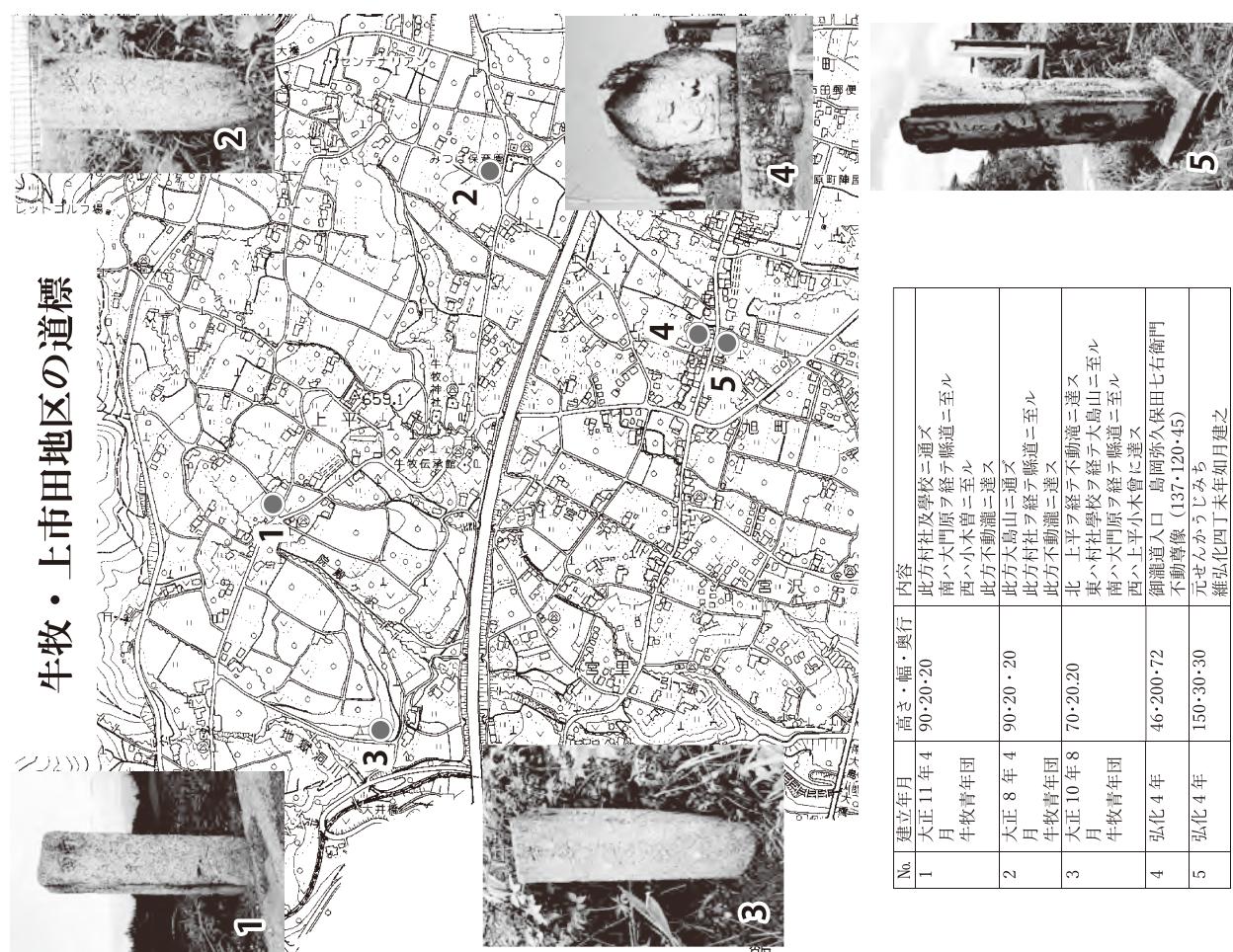
(高森町史下巻)道標建立もこうした青年団の事業の一つだったと考えます。

(5) 山吹地区の明治42年、大正御即位記念(大正4年御大典)の時の道標には「山吹駅」・「下平駅」への案内を示すものがあります。伊那電鉄が市田駅まで開通したのが大正12年3月であり未だ開業前です。明治30年に飯田までの伊那電鉄敷設特許状があり、明治40年には伊那電鉄(株)が設立されてはいますが、伊那大島以南の路線誘致運動は、大正3年にになってようやく行われたという(松川町資料館資料)ことですから、後に彫られたと考えるのが妥当かもしれません。



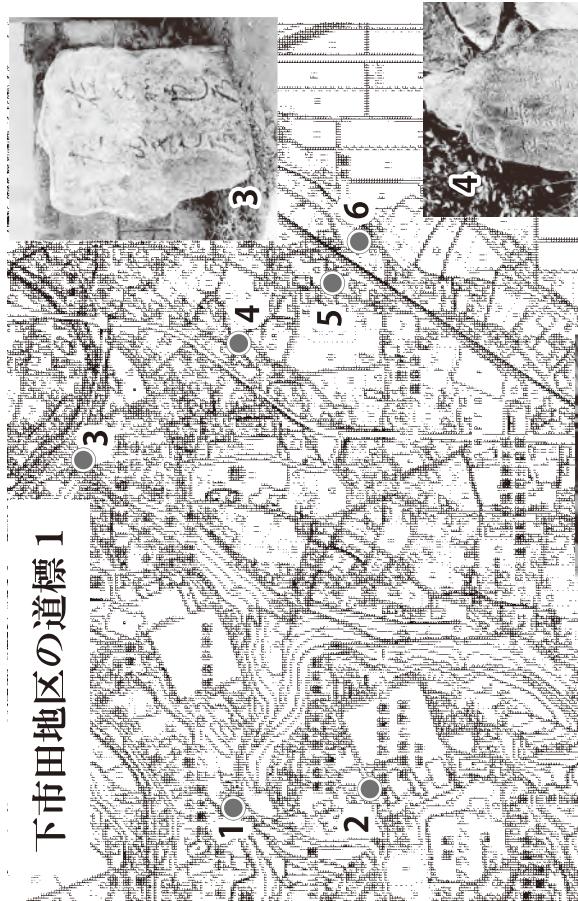
No.	建立年月	高さ・幅・奥行	内容
1	明治44年 49・14・14		此方縣道ニ通ズ小路 ※小路大門ヲ経テ童西線ニ通ズ 明治44年 吉田洗心会
2	205・23・18		南無阿弥陀仏 西國坂東巡礼塔 右座光寺 左秋葉山
3	50・50・		※せんこううし道 右差し手形彫
4	60・28・		※せんこううし道 左差し手形彫
5	115・37		※せんこううし道 フジ道ニ達ス
6	47・14・14		※小路賤庭ヲ経テ縣道ニ達ス 明治44年 吉田洗心会
7	67・30・25		※せんこううし道 右差し手形彫

※「建立年月日」の空欄は、建立年代未記載および不明のもの



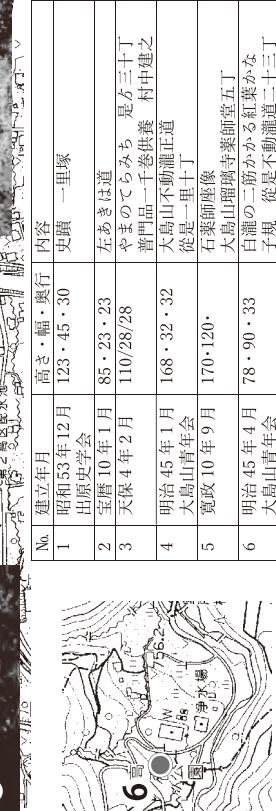
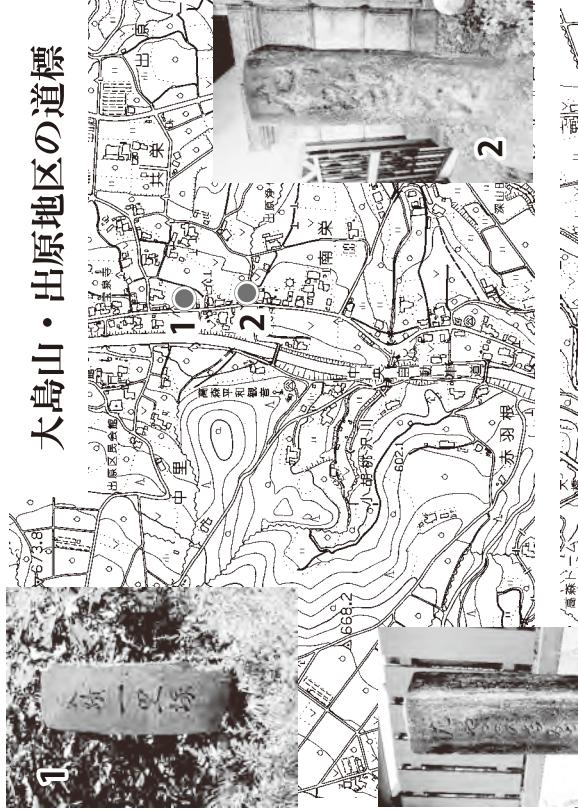
No.	建立年月	高さ・幅・奥行	内容
1	大正11年4月 牛牧青年団	90・20・20	此方村社及學校ニ通ズ 南ハ大門原ヲ経テ縣道ニ至ル 西ハ小木曾ニ至ル 此方不動瀧ニ達ス
2	大正8年4月 牛牧青年団	90・20・20	此方大島山ニ通ズ 此方村社ヲ経テ縣道ニ至ル 此方不動瀧ニ通ズ 此方不動瀧ニ達ス
3	大正10年8月 牛牧青年団	70・20・20	北上ヲ経テ不動瀧ニ達ス 東ハ村社及學校ヲ経テ大島山ニ至ル 南ハ大門原ヲ経テ縣道ニ至ル 西ハ上平小木曾に達ス 御瀧道入口 島岡跡久保田七右衛門
4	弘化4年	46・200・72	不動尊像(137・120・45) 元せんかうじみち
5	弘化4年	150・30・30	維弘化4丁未年卯月建之

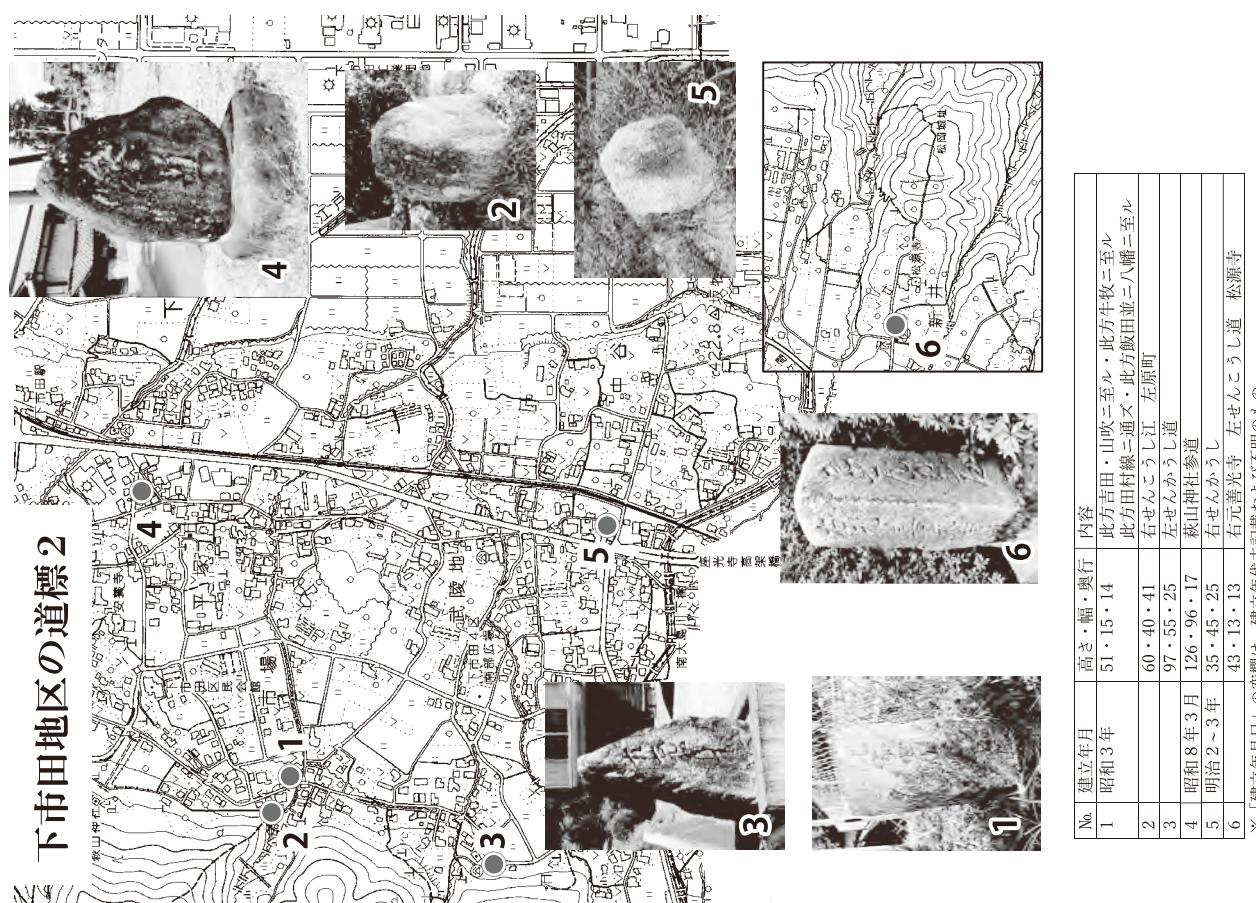
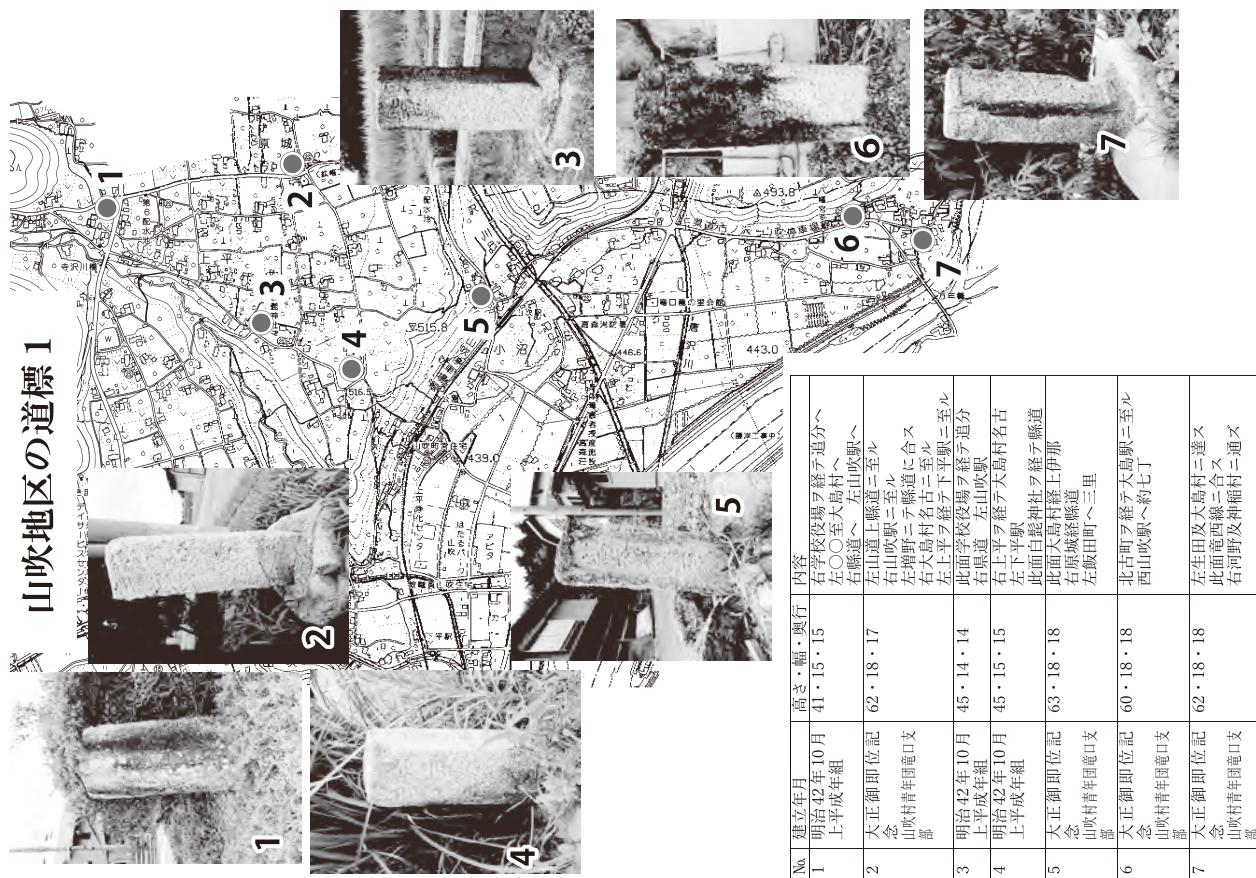
※「建立年月日」の空欄は、建立年代未記載および不明のもの

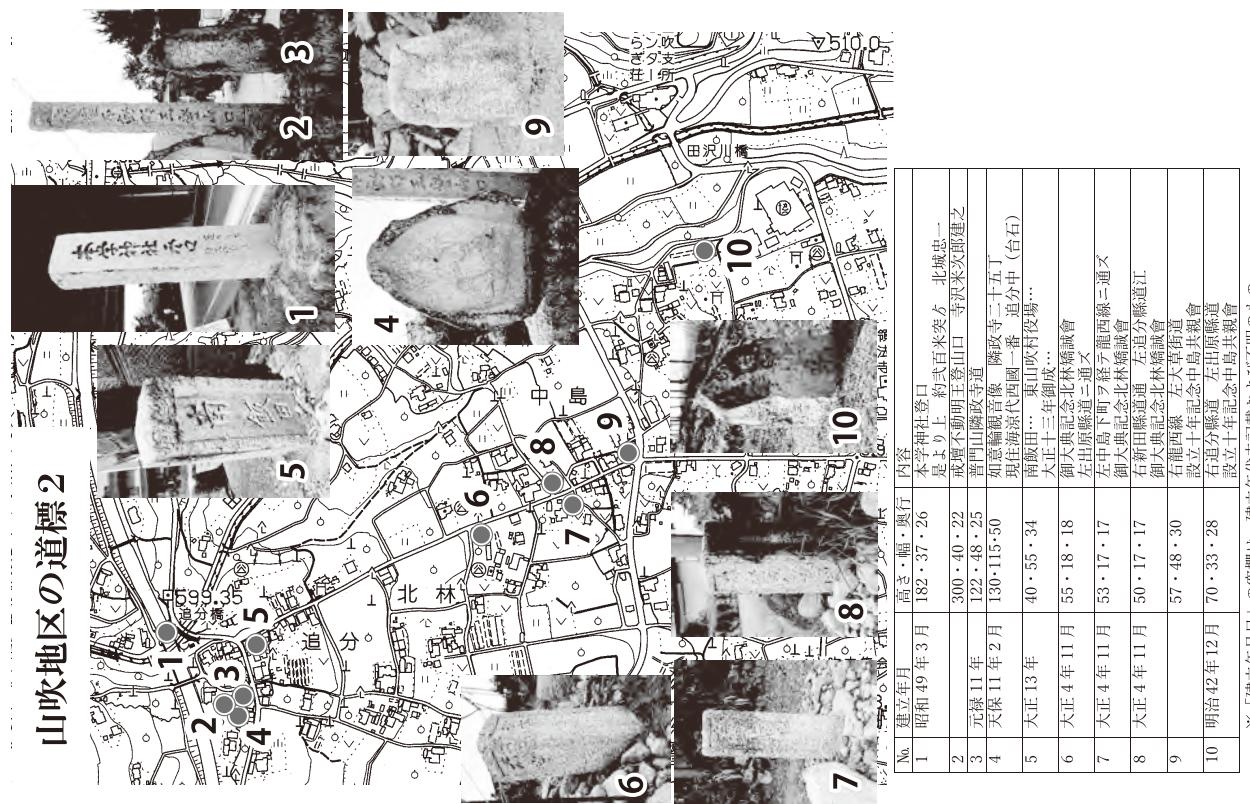
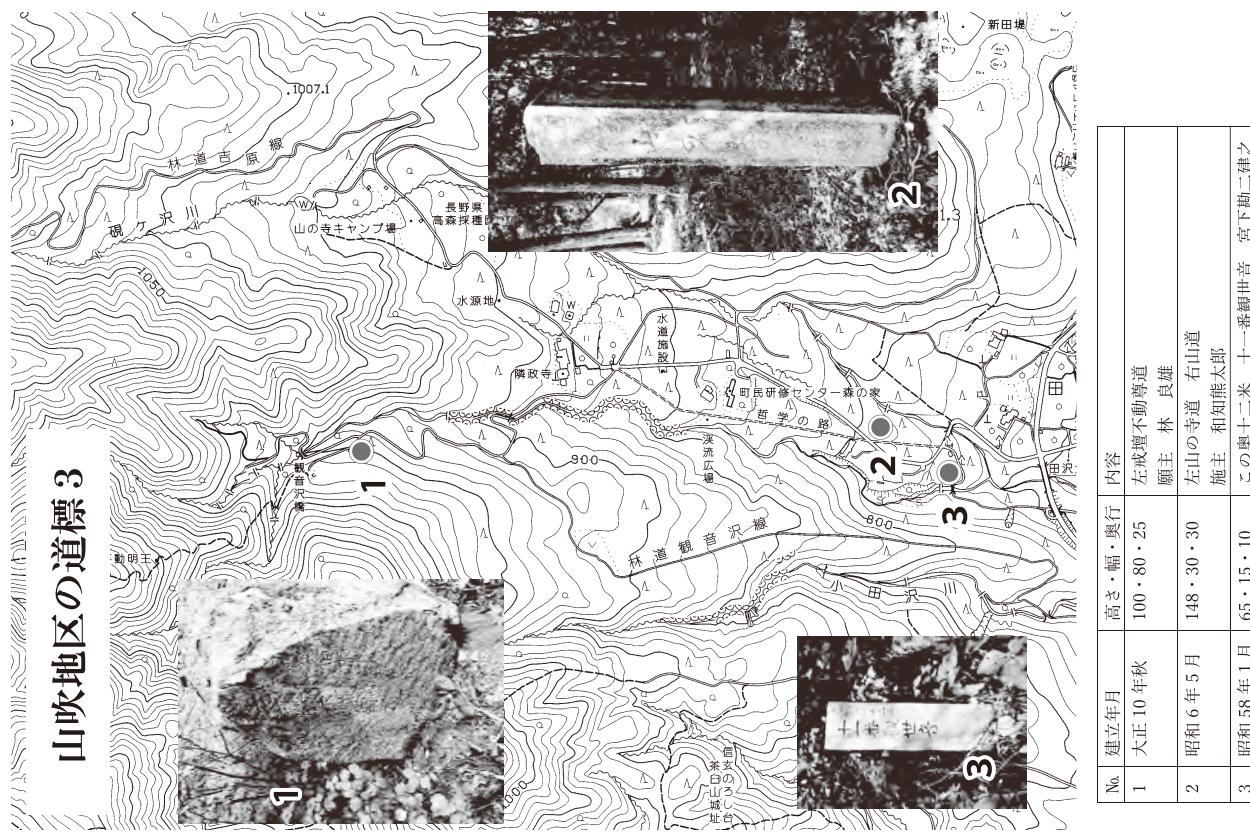


No.	建立年月	高さ・幅・奥行	内容
1	昭和53年12月	123・45・30	史蹟 一里塚
2	宝曆10年1月	85・23・23	左あきは道 東舟渡道 東善光寺道
3	天保4年2月	110・28・28	やまのてらみち 是方三十丁 村中建之 東ふなと道 北せんくわうし道
4	明治45年1月	168・32・32	普門品 千供養 大鳥山不動龍正道 右さかうし道 左あきは道 馬頭觀世音
5	寛政10年9月	170・120	大鳥山青雲会 石薬師座像 大鳥山瑞穀寺樂師堂五丁 左あきは道 大沢 馬頭觀音
6	明治45年4月	78・90・33	白龍の二筋あかる紅葉かな 有いいた道 左あきは道 馬頭觀音 右せんこう道

*「建立年月」の空欄は、建立年代未記載および不明のもの







(表5) 高森の道標一覧

昭和62年11月調査

平成6年12月調査

令和3年10月確認調査

No.	地区	所 在 地	図No.	建立年月	高さ・幅・奥行	備 考
1	牛 牧 · 上 市 田	石原田辻下	1	大正11年4月	90・20・20	此方村社及學校ニ通ズ 南ハ大門原ヲ經テ縣道ニ至ル 西ハ小木曾ニ至ル 此方不動瀧ニ達ス 牛牧青年団
2		ミツバ保育園西辻	2	大正8年4月	90・20・20	此方大島山ニ通ズ 此方村社ヲ經テ縣道ニ至ル 此方不動瀧ニ達ス 牛牧青年団
3		原真幸氏宅裏	3	大正10年8月	70・20・20	北上平ヲ經テ不動瀧ニ達ス 東ハ村社學校ヲ經テ大島山ニ至ル 南ハ大門原ヲ經テ縣道ニ至ル 西ハ上平小木曾に達ス 牛牧青年団
4		旧辻本屋上	4	弘化4年	137・120・45	御瀧道入口(台石) 不動尊像(137・120・45) 島岡弥三郎 久保田七右衛門
5		旧辻本屋下	5	弘化4年2月	150・30・30	是より元せんかう寺ミチ 総弘化四丁未年如月建之 竿石寄附当国中伊那高遠領上殿島村 高橋孫右衛門(台石)
6	大 島 山 · 出 原	下村武氏宅北	1	昭和53年12月	123・45・30	史蹟一里塚 出原史学会
7		片桐清隆氏宅横	2	宝曆10年1月	85・23・23	左あきは道
8		瑠璃寺東大北西辻	3	天保4年2月	110・28・28	やまとてらみち 是方三十丁 普門品一千巻供養 村中建之
9		石薬師辻立花	4	明治45年1月	168・32・32	大島山不動瀧正道 從是一里十丁 大島山青年会
10			5	寛政10年9月	170・120	石薬師座像 大島山瑠璃寺薬師堂五丁
11		高森公園	6	明治45年4月	78・90・33	白瀧の二筋かかる紅葉かな 子規 從是不動瀧道二十三丁 大島山青年会
12	吉 田	広庭三ツ辻	1	明治44年	49・14・14	此方縣道ニ通ズ小路 フクシマ小路大門ヲ經テ竜西線ニ通ズ フクシマ郷倉村社ヲ經テ竜西線ニ通ズ 明治44年 吉田洗心会
13		横道三沢氏宅墓地	2		205・23・18	南無阿弥陀仏 西國坂東巡礼塔 右座光寺 左秋葉山
14		スナヤドメ辻	3		50・50	フクシマせんこうし道 右差し手形彫
15		宮の下辻南	4		60・28	フクシマせんこうし道 左差し手形彫
16		古屋敷北	5		115・37	フクシマせんこうし道 右差し手形彫
17		大門三ツ辻	6	明治44年	47・14・14	フクシマ村社廣庭ヲ經テ縣道ニ達ス フクシマ小路廣庭ヲ經テ縣道ニ達ス 此方青東ヲ經テ竜西線ニ達ス 明治44年 吉田洗心会
18		光専寺南下辻	7		67・30・25	フクシマせんこうし道 右差し手形彫
19	下市田1	瀬高肇氏宅北裏	1		48・18・19	南座光寺道 東舟渡道 北善光寺道
20		給食センター辻	2		70・21・16	南さくわうし道 東ふなと道 北せんくわうし道
21		北沢和也氏宅前辻	3		64・52・40	右さかうし道 左あきは道
22		松島修三氏宅前	4	天明5年	56・39・42	天明五巳年 馬頭觀世音 左あきは道 大沢
23		大沢博氏宅東	5		78・61・25	馬頭觀音 右いゝた道 左あきは道
24		北原史男氏宅上	6		65・43・27	馬頭觀音 右せんこう志道

No.	地区	所 在 地	図No.	建立年月	高さ・幅・奥行	備 考
25	下市田 2	竜西線間ヶ沢辻	1	昭和3年	51・15・14	此方吉田・山吹ニ至ル・此方牛牧ニ至ル 此方田村線ニ通ズ・此方飯田並ニ八幡ニ至ル
26		間ヶ沢北上	2		60・40・41	右せんこうし江 左原町
27		下市田四区会所南	3		97・55・25	左せんかうし道
28		上沼政夫氏宅北	4	昭和8年3月	126・96・17	萩山神社参道
29		久保田利明氏宅南	5	明治2~3年	35・45・25	右せんかうし
30		林清志氏宅横	6		43・13・13	右元善光寺 左せんこうし道 松源寺
31	山吹 1	小平一彦氏宅北辻	1	明治42年10月	41・15・15	右学校役場ヲ経テ追分へ 左〇〇至大島村へ 右県道へ 左山吹駅へ 上平青年組
32		山吹停車場線原城集会所辻	2	大正御即位記念	62・18・17	左山道上縣道ニ至ル 右山吹駅ニ至ル 左増野ニテ縣道に合ス 右大島村名古ニ至ル 左上平ヲ経テ下平駅ニ至ル 山吹村青年団竜口支部
33		上平宮ノ越石コンヅキ	3	明治42年10月	45・14・14	此面学校役場ヲ経テ追分 右県道 左山吹駅 上平青年組
34		高野博人氏宅南辻	4	明治42年10月	45・15・15	右上平ヲ経テ大島村名古 左下平駅 此面白髭神社ヲ経テ縣道 上平青年組
35		小沼西集会所	5	大正御即位記念	63・18・18	此面大島村経上伊那 右原城経縣道 左飯田町へ三里 山吹村青年団竜口支部
36		竜口坂尻(旧道)	6	大正御即位記念	60・18・18	北古町ヲ経テ大島駅ニ至ル 西山吹駅へ約七丁 山吹村青年団竜口支部
37		城子一男氏宅入口	7	大正御即位記念	62・18・18	左生田及大島村ニ達ス 此面竜西線ニ合ス 右河野及神稻村ニ通ズ 山吹村青年団竜口支部
38	山吹 2	追 分 橋	1	昭和49年3月	182・37・26	本学神社登口 是より上 約弐百米突カ 北城忠一
39			2		300・40・22	戒壇不動明王登山口 寺沢米次郎建之
40		笹尾弘子氏宅下	3	元禄11年	122・48・25	普門山隣政寺道
41			4	天保11年2月	130・115・50	如意輪観音像 隣政寺二十五丁 現住海涼代西國一番追分中(台石)
42		原高夫氏宅前追分辻	5	大正13年	40・55・34	南飯田…東山吹村役場… 大正十三年御成…
43		山吹上生活改善センター下辻	6	大正4年11月	55・18・18	左出原縣道ニ通ズ 御大典記念北林矯誠會
44		寺沢良氏宅横	7	大正4年11月	53・17・17	左中島下町ヲ経テ龍西線ニ通ズ 御大典記念北林矯誠會
45		安藤栄孝氏宅下	8	大正4年11月	50・17・17	右新田縣道通 左追分縣道江 御大典記念北林矯誠會
46		立道大広屋前	9		57・48・30	右龍西線 左大草街道 設立十年記念中島共親會
47		安藤進氏宅畠東	10	明治42年12月	70・33・28	右追分縣道 左出原縣道 設立十年記念中島共親會
48	山吹 3	戒壇不動道岐路	1	大正10年秋	100・80・25	左戒壇不動尊道 願主 林 良雄
49		山の寺道北	2	昭和6年5月	148・30・30	左山の寺道 右山道 施主 和知熊太郎
50		駐車場入口	3	昭和58年1月	65・15・10	この奥十二米 十一番觀世音 宮下勘二建之

※「建立年月日」の空欄は、建立年代未記載および不明のもの

* * * 令和3年度の記録 * * *

利 用 団 体 名 称 と 人 数		
4月	町内	資料館運営委員会(5) 天理教ボランティア(8) 高森町史学会総会(26) 白夜短歌会(6) 源氏物語講読会(6) 高森町史を読む会(17) 下市田河原耕作者総会(4) きさらぎ会(6) 井月下伊那支部(6) 牛牧歌会(7) 古文書研究会(21) 音読の会(7) 高森自由大学(18) 滝里歌会(8) 気学の会(6) 資料館調査委員会(8)
	町外	なし
5月	町内	源氏物語講読会(10) 高森町史を読む会(18) キッズサイエンスクラブ(36) いかまい会(15) 井月下伊那支部(7) 古文書研究会(18) 高森町地域応援隊(6) きさらぎ会(6) 音読の会(7) 白夜短歌会(9) 若者特命係任命式(21) 滝里歌会(11) 牛牧歌会(7)
	町外	座光寺小学校2年生(39) つくば開成学園(18) 古代伊那郡研究会(15)
6月	町内	資料館調査委員会(10) 源氏物語講読会(11) 高森町史を読む会(19) 北小クラブ指導(13) 高森自由大学(15) 下市田史談会(16) 公民館主催町歩き(50) 高森中学3年生歴史班(22) 井月下伊那支部(4) 資料館活用委員会(7) 古文書研究会(19) 気学の会(6) 音読の会(6) 白夜短歌会(10) 牛牧短歌会(6) いかまい会(18) 滝里歌会(10) たかもり熱中小学校(6) 吉田史学会(4) きさらぎ会(6)
	町外	伊能ウォーク(29) 喬木村消防団(3)
7月	町内	JA女性部研修会(6) 井月下伊那支部(6) 気学の会(8) 高森町史を読む会(16) 音読の会(5) 北小クラブ指導(7) 古文書研究会(18) 白夜短歌会(9) 第1回時の駅講座(41) 牛牧歌会(5) きさらぎ会(6) 滝里歌会(10) 夏休み親子体験教室(118) 南小5年生(62) ひだまりの会(5) 源氏物語講読会(12)
	町外	南信州観光公社ツアー「今村清之助」見学(14) 伊那市東春近公民館(12) みらい福祉会(11) 下伊那教育会地理委員会(11) 豊岡南小6年生(42)
8月	町内	牛牧短歌会(6) 源氏物語講読会(7) 古文書研究会(17) 滝里歌会(10) 白夜短歌会(8) きさらぎ会(6) 音読の会(5) 気学の会(7)
	町外	信州社研下伊那支部(7)
9月	町内	源氏物語講読会(6) 資料館調査委員会(11) 高森中1年1組(29) きさらぎ会(7) 古文書研究会(14) 第2回時の駅講座(38) 高森南小4年生(125) 白夜短歌会(9) 高森町史を読む会(11) 資料館運営委員会(5)
	町外	下伊那保護司会北部地区研修会(14) 泰阜小4年生(16)



天理教の皆さんによるボランティア作業(4月)



座光寺小2年生校外学習(5月)



駐車場の鯉のぼり(5月)



町あるき(6月)



みらい福祉会勾玉づくり(7月)

利 用 団 体 名 称 と 人 数		
10月	町内	高森キッズサイエンスクラブ(19) 資料館委員研修(11) 白夜短歌会(9) 南小5年生(229) 高森町史学会(12) 高森町史を読む会(18) 北部地区老人クラブ(27) 北小クラブ指導(12) 牛牧短歌会(6) 井月下伊那支部(7) 音読の会(6) 町歩き打合せ(6) 源氏物語講読会(12) 滝里歌会(9) わかば勉強会(4) 高森中3年生(21) きさらぎ会(7) 高森の道編集会議(5) 気学の会(8) 古文書研究会(18)
	町外	松尾小3年生(126)
11月	町内	高森自由大学役員会(6) 源氏物語講読会(11) 高森町史を読む会(16) 土器野焼き(6) 第3回時の駅講座(38) 古文書研究会(20) 音読の会(2) 気学の会(8) 滝里歌会(11) きさらぎ会(7) 高森自由大学(29) 白夜短歌会(9) 北小クラブ指導(6) 牛牧歌会(6) 下市田史談会(11) 井月下伊那支部(4)
	町外	南信州観光公社ツアー「松岡氏と座光寺氏」見学(13) 下伊那北部地区教育委員研修会(25) 天龍村教育委員会(12)
12月	町内	源氏物語講読会(13) 史学会幹事会(13) 高森自由大学(34) 気学の会(5) 白夜短歌会(8) 高森町史を読む会(15) 高森の道編集会議(5) 高森ベースボールクラブ(47) 音読の会(6) 牛牧歌会(7) わかば勉強会(3) ひだまりの会(3) 滝里歌会(9) 古文書研究会(19)
	町外	岐阜西中学校(40)
1月	町内	資料館調査委員会(11) 資料館運営委員会(4) 小正月飾りづくり(14) きさらぎ会(6) 滝里歌会(11) 白夜短歌会(9)
	町外	なし
2月	町内	源氏物語講読会(11) 公民館美人画教室(4) 北小3年生(18) わかば勉強会(5) 気学の会(5) 布喜の会(11)
	町外	なし
3月	町内	源氏物語講読会(6) 滝里歌会(11) きさらぎ会(5) 気学の会(7) 白夜短歌会(9) 資料館運営委員会(4) 資料館調査委員会(10) 牛牧歌会(7) 音読の会(5) 布喜の会(14) 古文書特別研究会(19) 史学会幹事会(34) 高森町史を読む会講演会(34) わかば勉強会(6)
	町外	みらい福祉会(16) 浜松市井の国会(17)



松尾小学校3年生の体験学習(10月)



大正月飾り(12月)



土器焼き(11月)



布喜の会の皆さんとつるしひな(3月)



教育委員研修会(11月)

入館者数：令和3年度及び昭和54年11月の開館以降の累計

★令和3年度	6,216名（町内 4,862名 町外 1,354名）
★開館以降の累計	272,188名（町内 213,428名 町外 58,760名）

令和3年度 資料寄贈者御芳名

品名	寄贈者	品名	寄贈者
養水時割約定履行急訴 (明治27年 井水関係文書)	大島山 本島喜代人	雛人形 (親王飾り、随身びな、道具箱)	下市田 松岡邦子 飯田市 中村景子
大槻四郎画伯日本画1点	山吹 廣瀬芳徳	三六災害記録 南酪 市田支所	飯田市 胡桃沢剛
大槻四郎画伯二曲屏風	上市田 田切征勝	杵と臼他	下市田 上村裕
北島新平画伯作品21点	飯田市 北島道世	台秤・俵締機各1台	吉田 本島勝人
歴史寫眞帳7冊他	山吹 日野原深雪	棒秤・分銅1組	吉田 松岡和登
宮島儀右衛門写本他	吉田 宮島佐祐	ポータブル白黒テレビセット他	下市田 東垣外準
北原痴山書二幅	飯田市 前沢良寛	炭火アイロン	山吹 山田拓
学校教育保健資料他	高森南小学校	携帶用レコードプレーヤー	東京都 中島文隆

令和3年度寄贈本一覧

ひろし物語	飯島 紘	とうげの旗 第30号 ～北島新平追悼～	信州児童文学学会会長 北沢彰利
軍馬碑の調査（中信・南信地域）	関口槙邨		
抜萃のつづき その八十一	（株）クマヒラ	山の祭りからはじめる物語 ～北島新平・宮下和男ギャラリートーク～	飯澤文雄
風の音 泉遙歌集	泉遙（中村景子）		

資料館寄託資料

賀茂真淵和歌（縣居賀茂真淵真蹟） ・神靈御柱命尊影	山吹 山田拓	曉城の三氏 望別留念の詩3点 今村清之助関係資料 肖像写真・書簡等8点	山吹 宮下昭治 出原 今村雄治
------------------------------	--------	--	--------------------

資料館からのお知らせ

1 古文書研究会・高森町史を読む会 会員募集

◇資料館「時の駅」では、「古文書研究会」(毎月第3木曜)と「高森町史を読む会」(毎月第4木曜)を行っております。それぞれ、20余名の皆様での学習会になります。どちらの会も、一緒に参加して下さる方の加入をお待ちしております。年度途中でも構いません、興味のある皆様、ぜひご連絡ください。

(資料館「時の駅」 TEL : 35-7083)



2 古文書・古い資料を捨てないで、資料館にぜひ一報を！なつかしい昭和の物も！

◇皆さんのお家に眠っている古文書類などの古い資料は、歴史を解き明かす大事なものです。今まで「古いもので何だかわからない」と捨てられたり燃やされてしまったという話を耳にしました。大変残念です。

江戸時代・明治時代の古文書類はもちろん、古い書籍、写真、軍事郵便などの戦前の資料等々捨てる、燃やす前に資料館へご一報を、ご相談を！お願いいたします。また資料館では、最近昭和の物も収集しており、ワープロやファミコンなどの寄贈をうけました。そうした物も大歓迎ですので、ご連絡ください。大切に活用させていただきます。

編集後記

昨年度の編集後記に「来年度は、平常の資料館活動に少しでも戻ってくれることを願ってやみません。」と記したのですが、今年も同じことを記したい年度末となってしまいました。そうした中で感染対策に留意しながら、今年も特別展や企画展、時の駅講座などの活動が計画通りできましたこと、また親子体験教室も人数制限はしたものの多くの皆様がご参加くださったことは何よりも大きかったです。そして企画展や特別展などを見学にいらした方々が「すてき！」と声を上げられたり、じっと展示を見入っておられる姿、また子どもたちが生き生きと体験学習や見学をしている姿に、コロナ禍を乗り越える元気をもらった1年でした。(塩澤元広)